身の回りの放射線

体内、食品中の自然放射性物質

カリウムの1万分の1は放射性カリウムであるため、ほとんどの食品には放射性カリウムが含まれています

食品中の放射性物質

食品中の放射性物質（カリウム40）の濃度(Bq/kg)

Bq：ベクレル　Bq/kg：ベクレル/キログラム

米	30Bq/kg	牛肉	100Bq/kg
牛乳	50Bq/kg	魚	100Bq/kg
ドライミルク	200Bq/kg	ほうれん草	200Bq/kg
ポテトチップス	400Bq/kg	お茶	600Bq/kg
干ししいたけ	700Bq/kg	干し昆布	2,000Bq/kg

放射性カリウムはβ（ベータ）線とγ（ガンマ）線を放出するため、食品を摂取することで内部被ばくをすることになります。

乾物は、製品の状態で分析された値であり、乾燥による濃度上昇の効果も含まれます。例えば、乾燥により重量が 10 分の1になれば、濃度は 10 倍になります。

K

カリウム

0.01%は
放射性カリウム

- 生物に必要な元素
- ほとんどの食品に含まれている

ほとんどの
食品には
放射性カリウムが
含まれている

体内の放射性物質

- 被ばく量は体格によって決まる
- 体内のカリウムの濃度は一定

食生活による影響は受けない

カリウム 40	4,000Bq
炭素 14	2,500Bq
ルビジウム 87	500Bq
トリチウム	100Bq
鉛・ポロニウム	20Bq

体内のカリウム濃度は
一定になるように保たれているため、
食品のカリウムからの被ばく量は体格によって決まり、
食生活による影響は受けないと
考えられています。

関連ページ：上巻P74「目で見る放射線」、上巻P8「自然由来・人工由来」